



学校法人松本学園

松本大学

PRESS RELEASE

[発信] 松本大学入試広報室

〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1

TEL0263-48-7201 FAX0263-48-7291

<http://www.matsumoto-u.ac.jp>

2023年6月20日

報道関係各位

日本スポーツ法学会 2023年夏期合同研究会
テーマ「スポーツへの参加をめぐるルールの視点の広がりー
トランスジェンダーアスリートやパラアスリートの参加の現状から考える」

黄梅の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

下記のとおり、7月1日（土）に本学にて「2023年夏期合同研究会」（日本スポーツ法学会主催、日本スポーツとジェンダー学会協力）を開催いたします。

御多用のところ恐縮ですが、報道関係各社様を通して、本イベントについて広くご紹介いただきたく、取材方よろしく願いいたします。

加えて、本研究会では、地域住民の方々および本学教職員・学生の参加費を無料としていますので、これについてもご紹介いただけますと幸いです。

記

日 時 : 2023年7月1日（土）13時30分～16時50分

場 所 : 松本大学 5号館 524教室（〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1）

【スケジュール】

13:30～13:45 開会挨拶・趣旨説明

13:45～14:45 パート1 トランスジェンダーアスリートの参加の現状（各20分）

(1) 貞升彩氏（整形外科医師、医学博士、スポーツ倫理・インテグリティ修士、JSPO公認スポーツドクター）：国際的視点から

(2) 新井喜代加会員（松本大学）：米国のタイトルナインの視点から

(3) 鈴木モモ子会員（東京女子体育大学非常勤講師） 日本の体育・スポーツ指導者の視点から

14:45～14:50 休憩①

14:50～15:30 パート2：パラアスリートの参加の現状（各20分）

(1) 置塩正剛会員・畑中淳子会員（いずれも弁護士、JSLA紛争解決機関研究専門委員会）
国際的な仲裁事案の（法的）視点から

(2) 寺田恭子氏（桜花学園大学） 日本・諸外国のアダプティッド・スポーツの視点から

15:30～15:40 休憩②

15:40～16:25 パート3：パネルディスカッション・コメント

コーディネーター：杉山翔一会員（弁護士）

コメンテーター：近藤良享会員（名古屋学院大学）

16:25～16:40 質疑・応答

16:40～16:45 開会挨拶

■本件に関するお問合せ先

松本大学 松本大学大学院 健康科学研究科 新井喜代加 0263-48-7200（代表）



学校法人松商学園

松本大学

PRESS RELEASE

〔発信〕松本大学入試広報室

〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1

TEL0263-48-7201 FAX0263-48-7291

<http://www.matsumoto-u.ac.jp>

【企画趣旨】

スポーツへの参加する人の幅は広く、オリンピック・パラリンピックなどの国際競技大会に出場するような選手から、学校・大学の部活動や地域でスポーツに参加する人までおり、参加をめぐる問題の内容は様々である。その中でも、国際競技大会に出場することを目指す選手は、国際競技団体が定める参加・出場資格に関するルールを満たさなければならず、とりわけ、トランスジェンダーアスリートやパラアスリートの中には、国際競技団体が定めるルールに照らし、自身が希望する大会に出場できないという問題に直面したアスリートが出てきている。また、学校・大学の部活動や地域でスポーツに参加する人の中にも、性的マイノリティであることにより、希望する形でのスポーツへの参加がかなわない者も出てきている。

こうしたスポーツへの参加に関するルールをめぐるのは、今日、単にスポーツの競技としての公平性をどう担保するのかという視点だけでなく、差別禁止、経済的自由、安全といった様々な視点から議論がされている。そこで、今年度の夏期合同研究会では、様々な競技レベルのトランスジェンダーアスリートやパラアスリートのスポーツへの参加の現状を検討・考察することで、人々がスポーツへ参加するにあたり、どのような価値や視点が考慮されるべきかを整理、検討することにした。



いままでも
これからも
地域とともに

松本大学松商短期大学部開学 **70** 周年
松本大学開学 **20** 周年
松本大学大学院開設 **10** 周年

学校法人松商学園

■ 本件に関するお問合せ先

松本大学 松本大学大学院 健康科学研究科 新井喜代加 0263-48-7200 (代表)